

対象年度	令和 2年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート						
事務事業名	市道舗装補修事業						予算事業名	市道舗装補修事業費					
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	道路法				
			08	02	02	1101	経常経費						
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分	主要事業					
	2-3便利で快適に移動できるまちづくり(道路・公共交通)							担当課係等	土木課				
③道路維持管理の充実						維持係							
事業期間	継続 (昭和30年度～令和 4年度)												
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
安心・安全な道路とする。						住民からの要望が多く、道路の安全確保については、ますます緊急的な対応が求められている。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
経年劣化等による道路のひび割れ、水たまり、段差等の補修を行う。						道路の利用者。							
						【事業をとりまく環境の変化】							
						舗装の経年劣化に伴うひび割れや段差に加え、近年の集中豪雨による路肩や道路法面の崩れが多数生じている。市民からの舗装補修要望は多く、道路の状態や利用環境により、緊急に対応する場合と年次計画に組み込み順番に対応していく場合とがある。							
【令和 2年度 事業内容】				【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】					
・ 舗装補修工事(箇所付け工事) ・ 舗装補修工事(緊急対応工事)				・ 舗装補修工事(箇所付け工事) ・ 舗装補修工事(緊急対応工事)				・ 舗装補修工事(箇所付け工事) ・ 舗装補修工事(緊急対応工事)					

■ 事業費

		H30年度	R01年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	0	0			
	県 支 出 金	0	0			
	地 方 債	0	0			
	そ の 他	0	0			
	一 般 財 源	97,870	130,000			
歳 入 計 (千 円)		97,870	130,000			
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	15 工事請負費	94,199	123,552			
	16 原材料費	3,671	6,448			
歳 出 計 (千 円) (A)		97,870	130,000			
伸 び 率 (%)			32.82			
備 考	総合計画 77～79ページ 予算書 136ページ					

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	道路の補修（穴、段差、路肩の補修）	k m	目標	3.00	3.00	3.00
			実績	2.40	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	要望・相談に対しての達成件数（補修のみ）	%	目標	70.00	70.00	70.00
			実績	77.20	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	誰もが安全安心で通行できる道路は市民生活における重要基盤である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	緊急性、必要性を考慮し、道路管理者が実施することが責務である。
	手段の妥当性	A 妥当である	緊急性を鑑み、対応できる業者を選定して発注している。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	年々要望により補修箇所が増える中、緊急性必要性に加え、コスト効率に繋がる費用対効果を加味し、優先順位をつけて予算内で処理を行っている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市内全域を対象に道路管理者が実施すべき内容であり、公平性は高い。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	生活道路の安全確保につながっている。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	年次計画で対応するものについては順調に進んでいるが、住民からの要望を見る限り市道全体をカバーするには至っていない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
道路補修要望が増加傾向をたどる中、削減もしくは現状維持の予算及び人員で対応している状況であるので、市道全体をカバーすることは難しい。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
道路補修要望箇所が増加傾向をたどる中、消滅または現状維持の予算及び人材で対応している状況で、市内全域をカバーするには至っていない。また緊急性の高いケースについては安全第一であるため、コスト効率のみを追求することは難しいことから、これまでの補修実績データを整理し、年次計画に先立つ市道整備計画や補修基準等の指針を数年ごとに見直しするなど、出来る限り計画的な整備が行える体制づくりを進めたい。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了</p> <p>改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）</p> <p>道路の老朽化に伴い補修箇所・要望が多い中で、第一に現場を確認し危険性・緊急性を判断し、道路の安全確保を最優先させ、その対応の経済性・必要性・妥当性を考慮し迅速に対応する。また緊急対応については建設業組合等と協定を締結し確実な実施体制を確立する。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>